

島津試験 CSC ニュース No.155

島津マイクロフォーカスX線CTシステムによる ボールペン先端部の内部状態の観察

ボールペンの先端部を島津マイクロフォーカスX線CTシステムで観察しました。透視画像では得られない多彩な情報が得られます。

ボールペン(図1)の先端部の透視画像が図2です。この部分を480枚のCT画像データとして取り込み3D画像として表示したのが図3と図4です。図3はボールペンの縦軸に沿ってカットした画像、図4は縦軸に直角にカットした画像です。図5はMPR画像であり、ボールペン先端の任意の断面画像を取り出せることを示しています。



図1 サンプルの外観

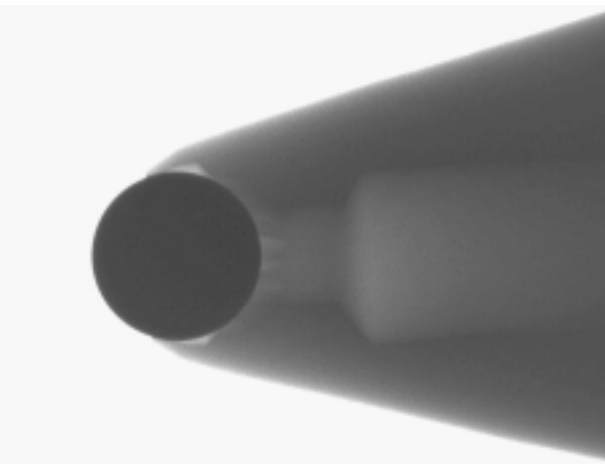


図2 X線透視画像(SMX - 100)

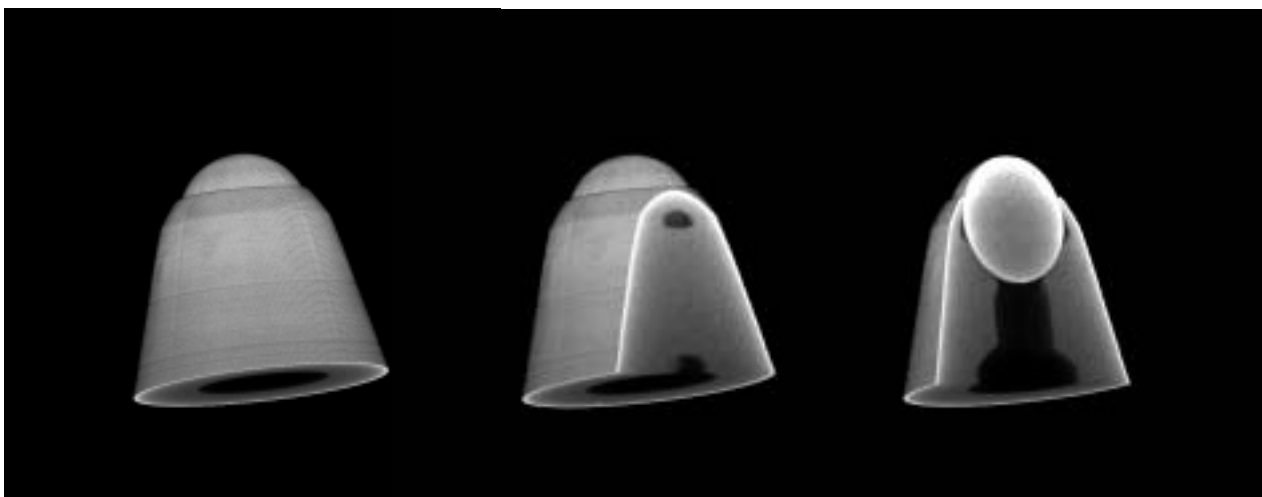


図3 3D画像(SMX - 100CT)

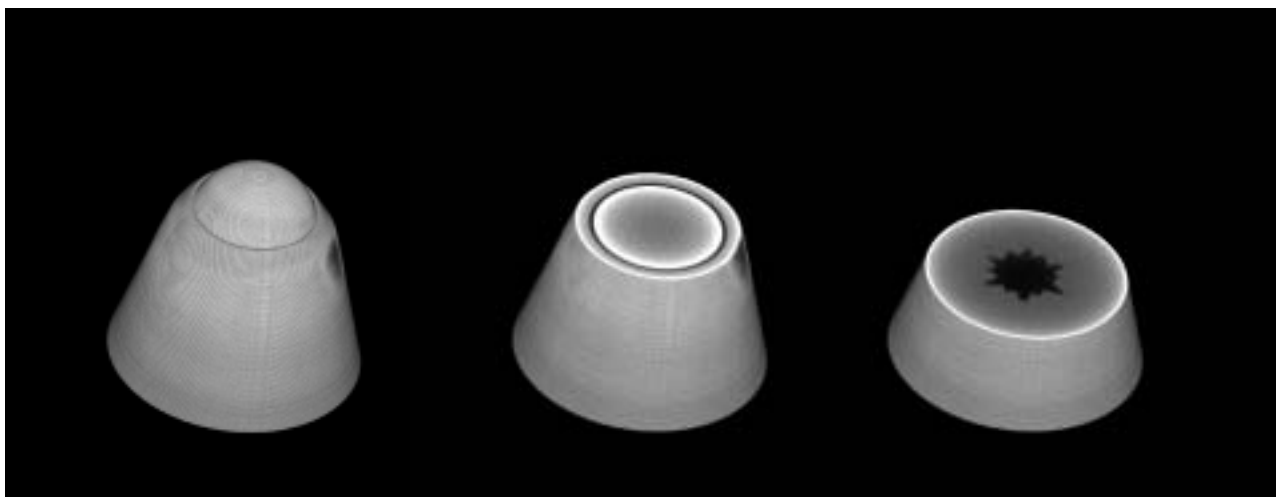


図4 3D画像(SMX-100CT)

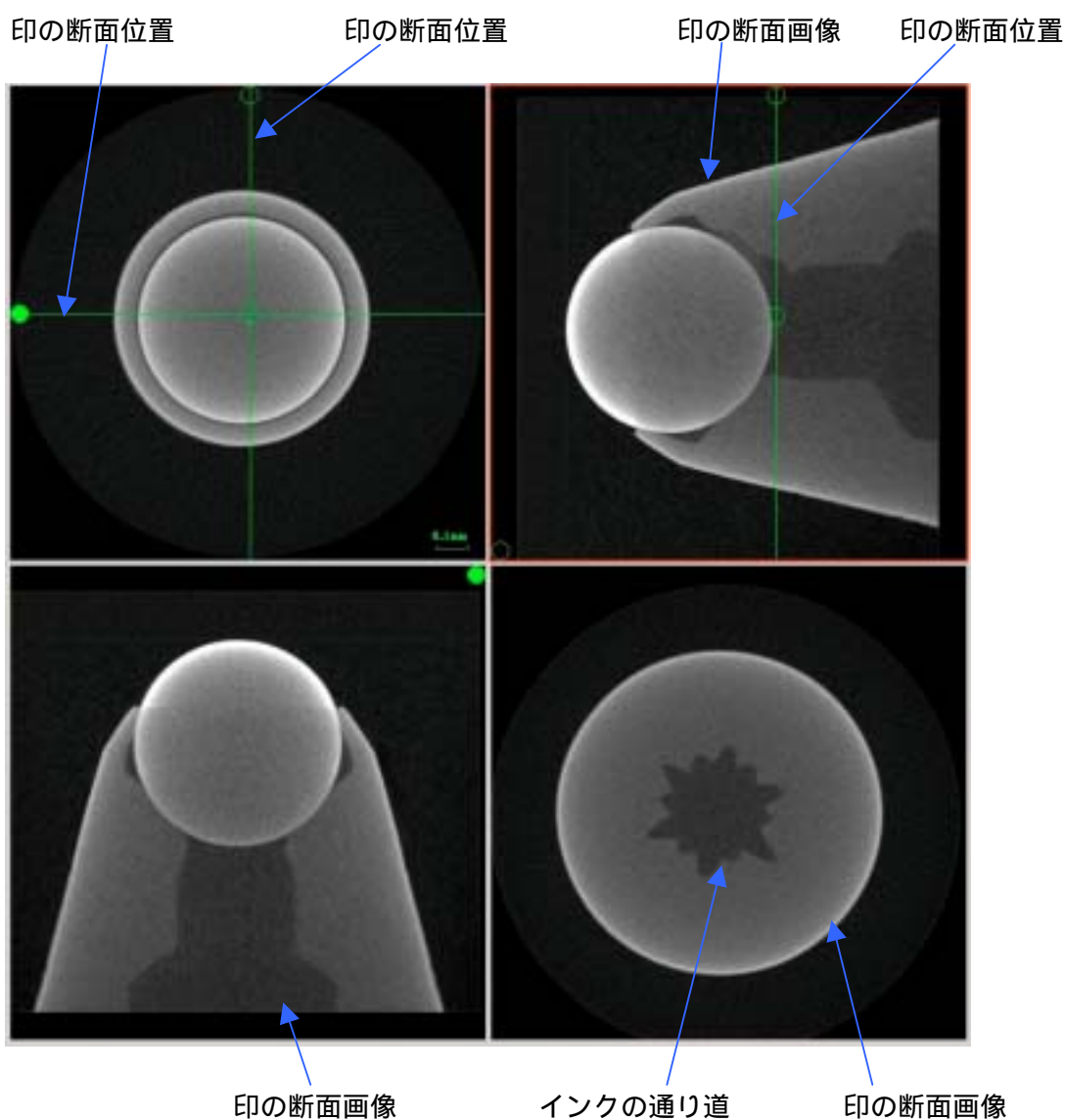


図5 MPR画像(Multi-Planner-Reconstruction)